

学校経営推進費 評価報告書（1年め）

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立鳳高等学校
取り組む課題	A グローバル人材の育成
評価指標	<ul style="list-style-type: none">・プレゼンテーション・スピーチ・ディベート・海外交流などを行い、話す力（やりとり・発表）を伸ばす・英語力の育成とともにグローバルな感覚を身に着ける環境をつくり、自主性や創造性を養う・実用英語検定準2級以上合格者の割合・英検2次 Speaking CEFR B1、A2の割合増加
計画名	鳳で校内留学 ~「さかい」で「せかい」とつながる~

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の中期的目標	<p>1 夢や目標に向けて、進路実現に取り組む生徒の育成 「自分ごと」として物事を捉え、様々な課題に向き合い、将来の自分を見据えて粘り強く取り組んでいく姿勢を育成する。</p> <p>(1)生徒が主体的に取り組む進路学習・キャリア教育を充実させる。</p> <p>2 確かな学力の育成 視野を大きく持って、様々な課題に取り組むために知識・技能とともに常に改善する意識を育成する。</p> <p>(1)学びの質の向上を行い、知識・技能の確実な定着を行う。</p> <p>(3)知識・技能に偏らず、課題解決に向けて創意工夫する意識を持続する心を育てる。</p>
事業目標	<p>① 思考力やコミュニケーション力の育成 「英語エキスパートクラス」など日常から、英語に触れるとともに国際的な文化を感じる環境を作り、単に英語力だけではなくグローバルな視点を養うことにより将来のキャリアに対する意識を醸成し結果に結び付ける。</p> <p>② ラーニングコモンズを中心とした多様なコミュニケーション能力の育成 教科に偏らず、ラーニングコモンズを中心とした海外とのコミュニケーション Society5.0を見越したデジタルとの融合などを多角的に取り入れる中、非日常空間とリアルな実物の接点を判断できる人材を育成する。</p> <p>③ 教科横断的な学びによる想像力・対応力・多様性の育成 単位制高校の利点を活かし、多様な学校設定科目を開設し、グローバルな視点を起点としてSDGsの理念を踏まえた国際的に通用する生徒を育成し、自分の夢・目標を明確に語れる人物を増やす。</p>
整備した設備・物品	<ul style="list-style-type: none">・跳ね上げ式天板セミナーデスク・折り畳み式キャスター付チェア・会議用ワイドレンズWEBカメラ・会議用スピーカーフォン

	<ul style="list-style-type: none"> ・背景布スタンド
取組みの主担・実施者	<p>主担：「将来構想委員会」が全体を調整しながら、「カリキュラムマネジメント委員会」「学力向上委員会」「探究活動委員会」「国際交流委員会」などの取り組みを調整し推進する。</p> <p>実施者：全教員</p>
本年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・跳ね上げ式天板セミナーデスクと折り畳み式キャスター付チェアを購入し、グループワークやWEBミーティングなど多様な学習形態をとれる環境の整備 ・WEBカメラ、スピーカーフォン、背景布スタンドを購入し、海外を含む遠隔地との交流を行うための環境整備 ・DXハイスクールと共同使用（DX予算で購入）で、大型ディスプレイやデジタルとアナログを融合したグループワークを可能にする縦型ホワイトボードおよびプロジェクターを整備 ・英語エキスパート教員による学校設定科目の準備。 ・大阪観光局や大学等との連携を協議。連携事業の企画・立案。 ・英語スピーチコンテストの充実と拡大。先進校視察等。
成果の検証方法と評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ・有志（AUS国際研修参加者など）によるLL教室での海外との交流及びスピーチコンテストでの報告。 ・対象者へのアンケートの実施。肯定的回答80%以上。 ・LL教室施設、英語エキスパート教員、NETを活用し、希望者に英検リスニング・スピーキング講習。 ・1月英検（校内実施）2級受験者 2年生45%以上、1年生20%以上。 ・実用英語検定準2級以上合格者の割合 25%、内 合格者の2次Speaking CEFR B1、A2の割合分析。
自己評価	<p>今年度の取組みでは、学習環境の整備や英語教育の充実をめざした。成果があった部分と一部の評価指標について今後の見直しが必要な部分も明確になった。今年度の成果をもとに、次年度はさらなる環境整備とカリキュラムの実施をしていく。</p> <p>各活動の評価を今後の改善に活かし、英語教育のさらなる向上を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「英語エキスパートクラス」生徒によるオンライン交流 実績：未実施。しかし、大阪観光局と連携してインドなどの海外高校との交流を次年度5月に予定 評価：次年度に向けた準備が進行中。……………【△】 ・学校設定科目でのディベートと交流目標：ディベート実施と他校との交流 実績：英語でのスピーチコンテストに加えて英語ディベートを実施 評価：生徒は英語力をいかんなく発揮し、ディベートにおける論理力が向上した。【○】 ・探究発表会でのポスターセッション参加/対象者へのアンケート実施 実績：英語エキスパートクラスの設置は次年度から予定されており、今年度は未実施 評価：英語エキスパートクラスの取組みについてPTを中心に企画・立案を行った。【△】 ・英検リスニング・スピーキング講習 実績：1・2学年で授業時と課外活動として継続的に実施 評価：生徒の試験対策をしっかりとサポートできた。……………【○】 ・英検受験者率と合格率 実績：1月実施の英検で、2年生81%、1年生75%、全体79%の二次試験合格率 評価：二次試験の合格率が高く維持され、指標は概ね達成した。……………【○】

次年度に向けて	<p>【課題】</p> <p>①オンライン交流の未実施 ②エキスパートクラスの運営方法 ③探究発表会への参加未実施</p> <p>【取組み】</p> <p>①今年度実施できなかった海外とのオンライン交流について、大阪観光局との連携をさらに強化し、確実に実行に移すための具体的なスケジュールと技術的サポート体制を確立する必要がある。これにより、交流が円滑に進み、生徒が実際の異文化コミュニケーションを経験できる機会を作り出す。</p> <p>②英語エキスパートクラスの設置と運営については、クラスの目的に基づく学習プログラムを設計し、生徒の学びを最大限に引き出す体制を整る。</p> <p>③生徒が発表スキルを磨くためのワークショップやトレーニングを前もって実施し、次年度の参加をめざす。</p> <p>④DXハイスクール・グローバル型に申請中。本事業と連携して文理横断型のコミュニケーション能力を育成する。</p>

3. 事業費報告

今年度事業費総額	1,940,525	円
----------	-----------	---

積算内訳

* 決算科目（節）を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。

積算内訳	科目（節）	番号	内訳	単価	数量	金額
	2 旅費	1	先進校視察(愛知県立刈谷北高校他) 3名	¥42,500	1	¥42,500
		2				
		3				
					小計	¥42,500
積算内訳	3 消耗需用費	1	跳ね上げ式天板セミナーデスク	¥19,085	42	¥801,570
		2	折り畳み式キャスター付チェア	¥13,640	42	¥572,880
		3	会議用ワイドレンズWEBカメラ	¥6,400	1	¥6,400
		4	会議用スピーカーフォン	¥15,200	1	¥15,200
		5	背景布スタンド	¥7,965	1	¥7,965
					小計	¥1,404,015
	6 委託料	1	不用品産業廃棄物収集運搬処分費	¥328,460	1	¥328,460
		2	LL教室床穴開き部鉄板プレート埋設及び塗装業務	¥88,550	1	¥88,550
		3	電話主装置設定変更業務	¥77,000	1	¥77,000
					小計	¥494,010
					合計	¥1,940,525